

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	ひとり親家庭相談事業	所管	保健福祉部 子ども支援課
			TEL 2998-9124

事業の目的 (何の為に 行うか)	ひとり親及び寡婦の相談に応じるとともに、その自立を支援する。
------------------------	--------------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	母子家庭、父子家庭および寡婦(H17年 国勢調査に基づく)	対象とした数	2,838	件
		実際に 利用した数	264	件

活動の内容	(何を したか)	<p>「ひとり親家庭生活情報」(ひとり親家庭向けの情報冊子。)の改訂版発行。 ひとり親(母子・父子)家庭及び寡婦に対するアンケート調査を実施した。 関係部局、民生委員・児童委員及び母子寡婦福祉団体等の協力を得るとともに、関係機関等と常に密接な連携を図りながら実施している。 母子自立支援員は、業務の経過を明らかにする為に相談等の状況を記録・整理している。</p>							
活動実績	項目名	相談件数	264		項目名			項目名	単位
			-----	-----		-----	-----		-----
			単位	件		単位			単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	2,625	2,562	4,441	13.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	相談件数	実績÷目標値	250	264	105.6
			-----	-----	-----
			単位	件	単位
				件	単位
					%

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了	⇒	事業完了	終了	休止
	予算	* 現状どおり	増額	減額	終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了							
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他〔 〕	終了
	予算	現状どおり	増額	減額	終了			

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040500	TEL	2998-9124
事業コード	ひとり親家庭相談事業					
040512						
開始年度		平成 15 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市次世代育成支援行動計画			母子及び寡婦福祉法、所沢市母子自立支援員設置要綱				
	関連・類似事業	ひとり親家庭等日常生活支援事業							
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	2節 児童福祉	中柱	2 子育て家庭への支援	小柱	(2)ひとり親家庭や障害児をもつ家庭への支援の充実
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 9 位		実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○					
事業開始の背景	ひとり親家庭及び寡婦世帯が増大している近年、自立に向けての支援を行う必要性が高まってきたことから事業を開始した。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	ひとり親及び寡婦の相談に応じるとともに、その自立を支援する。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)	母子家庭、父子家庭および寡婦(H17年 国勢調査に基づく)		利用数の考え方 相談を受けた件数				
	対象数	単位	平成 18 年度	2,838	件	平成 19 年度	2,838	件
	利用数	単位	平成 18 年度	210	件	平成 19 年度	264	件
	事業の具体的な内容及び実施方法							
「ひとり親家庭生活情報」(ひとり親家庭向けの情報冊子。)の改訂版発行。 ひとり親(母子・父子)家庭及び寡婦に対するアンケート調査を実施した。 関係部局、民生委員・児童委員及び母子寡婦福祉団体等の協力を得るとともに、関係機関等と常に密接な連携を図りながら実施している。 母子自立支援員は、業務の経過を明らかにする為に相談等の状況を記録・整理している。								

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	◀ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ▶	
	総合評価	<input type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)	
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	
	平成19年度中に改善した点 平成20年4月に施行される児童扶養手当制度の改正に合わせ、母子自立支援事業の周知や求人情報の提供等を徹底した。		

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		2,366	2,625	2,625
	決算(見込み含む)		2,275	2,562	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(0.50 人) (人)	(0.50 人) (人)		
	正規職員人件費	0.20 人	1,840	0.20 人	1,879
	公債費				
	事業費合計		4,115	4,441	
	財源内訳	一般財源	4,115	4,441	2,625
	国・県支出金				
	受益者負担金				
市債					
その他					
市民一人当たり(単位:円)		12.2	13.1		
利用数一単位あたり(単位:円)		19,595.2	16,821.2		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	相相談件数	計算方法	実績	単位	件	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績						210	264		
	成果分析	相相談件数	実績÷目標値		件	目標値	250	250	250	
					%	実績	210	264	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input checked="" type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	所沢市	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
	明らかとなった課題	父子家庭は、母子家庭に比較して明確な判定基準を持たないため、児童扶養手当制度の認定基準等を参考に支援制度の適用範囲を定めるための研究を進める必要がある。					
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)				
平成20年度における目標設定	ひとり親家庭・生活情報冊子の充実	情報の充実・刷新	年度内				
平成21年度における事業の方向性							
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)						
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
評価理由	ひとり親が抱える悩みは就労、子育て、生計など多岐に渡ることが、相談実績から明らかとなっている。相談者はそれらの問題を別個のものとは感じていないため、生活面・精神面の問題解決に至る入り口として母子自立支援員の役割は大きくなると考えられる。また、適切な制度利用と効果的な就業支援による自立を促進するために自立支援プログラム策定員の配置は不可欠になると考えられる。						
評価日	平成20年6月6日	記入者職氏名	子ども支援課長 黒澤潤子				

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了				
	総合評価	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由					
	評価日					
⑨個別計画における方向性	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標				
	市長マニフェスト					
評価理由						
評価日						

⑨環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード		
⑩個別計画における方向性	基本目標	2子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます		
	主要課題	1すべての子育て家庭への支援		
	施策の方向	3経済的支援の充実		